

つながり、 支え合う社会へ



まずは健康づくり。そしてもし病気や怪我をしたら、医療の力で全力で命を救う。
高齢者も障がい者も、誰もが社会の中でつながり、支え合う「あたたかい横浜」を目指します。

01 医療ビッグデータで 健康寿命の延伸を

Manifesto

「YoMDB」(ヨコハマ・オリジナル・メディカル・データベース)を医療ビッグデータとして最大限活用し、EBPMを実践するほか、市民が携帯アプリなどで健康管理を行い、適度な運動や睡眠の質の向上、歯科口腔健診の定期的受診の推進などにより生活習慣病を改善して健康寿命を延伸します。



救急医療を革新する5Gネットワーク/
ビッグデータによる広域医療DXを実現。



横浜市①の課題



救急医療は益々切迫し、命を救う体制を強化する必要がある。



救急搬送人数 一日当たり



救急車の遅れは
命に直結

救急車到着時間



- ✓ 高齢者増によるニーズの増加
- ✓ 開かずの踏切による立往生も発生
- ✓ 搬送中に亡くなる事例あり



02 住み慣れた街で医療や介護を受ける

Manifesto

誰もが住み慣れたまちで、安心して医療や介護が受けられる「横浜型地域包括ケアシステム」を推進します。元気づくりステーションを活用した予防介護強化や在宅医療・介護、オンライン介護相談などによる家族介護支援、家族に頼れないおひとり様高齢者のケアの体系化を進めます。

03 障がい者との共生社会を目指します

Manifesto

障がい者と健常者がともに楽しくスポーツを行う機会を増やし、身体的障害・知的障害・精神障害など障害への理解を深め共生社会を目指します。また、障がい者の就労に関するマッチングを支援します。

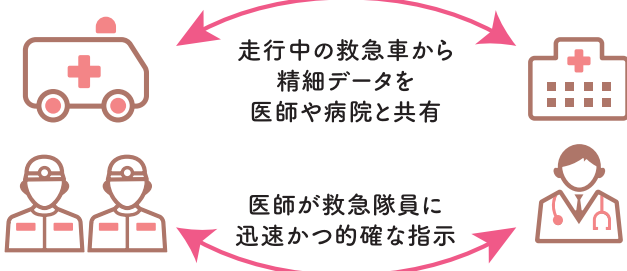


5Gやビッグデータによる
66 医療DX 99 導入



命を救う
「医療DX」

ローカル5Gとキャリア5Gを繋ぎ「ハイブリッド5Gネットワーク」で基幹病院、地域の病院、救急車などを繋ぐ



救急車の迅速&高度化

- 緊急性の高い救急医療で、通常医療や大規模災害時の医療を高度化
- 一人でも多くの命を救う

がんなどの早期発見・予防医療も

- 医療ビッグデータをがん対策や病気の予防、早期発見などに活用し、医療費の削減につなげる

医療・福祉

横浜市がん撲滅対策推進条例に基づき、がん予防、早期発見、緩和ケアなどの取組みを進め、ナッジによるがん検診の受診率アップ、希少がん研究、先進医療の積極導入などを推進します。

年々救急車到着時間が遅くなる中、高齢化により増える救急ニーズに対応するため、規模、能力、予算などを検証し、DXの活用も含めて適切な救急医療体制を整備します。

不妊治療への支援強化や産前・産後の健康診査への助成、妊婦の初診無料化、妊娠時や出産時の生活応援助成、乳幼児の一時預かり、障がい児の医療的ケア、小児医療費への支援、妊産婦や乳幼児の災害対策ガイドラインの策定など、切れ目のない、きめの細かいこども・子育て政策を進めるとともに国に対しても対応を求め、市内の出生率を高めます。

横浜市大医学部病院および市大センター病院の米軍根岸住宅地区跡地への移転を速やかに進めるとともに、南区浦舟町と金沢区福浦の移転後の施設の活用を地域医療に資する形で進めます。

介護人材不足に対応するために、外国人介護職の活用とともに、IoTやロボット、データ活用を駆使して介護DXを進めるとともに、学生や行政職員や市会議員による介護体験や実習などをプログラム化して介護現場の実情に対する理解を深めます。

高齢者人口がピークを迎える2040年頃に向けて認知症対策を強化し、市内に115箇所ある認知症カフェの積極利用による情報提供や本人や家族の不安の払しょくや居場所づくり、地域の見守り醸成などを推進します。

要介護3以上の個別避難計画について、介護支援専門員などと連携を強化し計画の策定を着実に進めます。

現行の横浜市シニアボランティアポイント事業を見直し、誰もが積極的にボランティア活動に参加し、参加度合いに応じてポイントが付与されるような仕組みの構築を目指します。

先天性難聴の赤ちゃんを早期発見する聴覚スクリーニング検査の100%実施や、中途難聴、高齢者難聴・手話やアプリを活用した情報保障など総合的な難聴対策・聴覚障がい者政策を推進します。

コロナ禍で増えた女性や子どもの自殺、コロナ前から多い男性の自殺について、専門性を持つNPOなどと連携しながら「心に寄り添う」相談体制を強化するとともに残された家族などの支援についても取り組みます。

子どもや妊娠中の女性、非喫煙者などの多くの人が、望まない受動喫煙を避けるために健康増進法や喫煙禁止地区の厳格な運用を徹底し、分煙によって喫煙者而非喫煙者の双方ともストレスを感じない快適な環境を整備します。

アルコール・薬物・ギャンブルなどをはじめとした依存症全般を対象に予防啓発、早期発見、回復などに対する支援を推進します。

犬や猫の不妊去勢手術やワクチン接種の推進、マイクロチップの装着、狂犬病対策など、ペットと人との共生や動物愛護についての啓発を進めます。